

〔科目名〕 財務分析 I	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 基幹科目
〔担当者〕 落合 孝彦	〔オフィス・アワー〕 時間: 休憩時間・授業後 場所: 非常勤講師控室等	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>営利企業は事業の運営を通じた社会貢献を行うことに主眼を置いて設立されますが、その事業を継続・発展させるためには、事業経営の成果(企業業績)の測定と評価が肝要となります。この測定と評価を行う際に不可欠な基礎資料となるのが「財務諸表」であり、それを分析する手法が「財務分析」となります。</p> <p>財務分析の手法は企業内部者だけでなく企業外部者も活用することができます。前者の立場では、企業の存続・発展のための意思決定に有用な分析が管理会計的視点からなされます。後者の立場では、投資あるいは融資対象としての適格性を見るための分析が開示された情報に基づきなされます。</p> <p>財務(諸表)分析の種類は、おおまかにいえば 4 種類、すなわち「収益性」/「安全性」/「成長性」/「生産性」に分けられますが、本講義では「生産性」を除いた残り 3 種類に重点を置いて授業を進めることとなります。なお、授業の内容や進行状況に応じて、別途、資料を配布する予定です。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 <p>〔科目の概要〕でも述べたとおり、財務分析の知識や手法は企業内部者だけでなく、外部者の立場からの分析にも有用です。</p> <p>内部者とは「経営者」/「従業員」を指しますが、外部からコンサルタントを招き業務改善等を測る場合、これも(準)内部者となるでしょう。代表的な企業外部者としては「既存株主」/「潜在投資家」/「債権者」が挙げられますが、行政指導や脱税防止の観点からは「行政当局」/「税務当局」が、アカデミックな観点からは「大学教員」が、さらには就職活動のための分析を行う「大学生」も外部者として挙げるすることができます。</p> <p>このように、企業の財務内容に関心を持つ人々は多岐にわたりますので、それを分析する手法や考え方を学ぶことは、企業からの影響を受ける利害関係者にとって有益だといえるでしょう。</p> <p>他科目との関連という観点からは、財務分析の内容は、財務会計の内容を基礎とし、採算性分析について管理会計と深く関わり、企業評価については財務管理と深く関わっています。このように、内部者や外部者へ提供される分析ノウハウは、経営学の領域だけでなく、経済学の領域においても援用可能なものとなっています。このように、財務分析は、さまざまな分野の科目を結び付ける紐帶的役割を担っています。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <p>○中間目標 財務諸表における主要 3 表(貸借対照表/損益計算書/キャッシュフロー計算書)の役割・その仕組みと読み方を理解する。</p> <p>○最終目標 ビジネス会計(大阪商工会議所主催)検定試験 3 級レベルの「財務分析に関する知識・分析手法等」を修得する。</p>		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>例年、「進行が速い」、「練習問題を増やしてほしい」との指摘を受けています。これらの点に留意して、練習問題を増やすよう心掛けたいと考えています。また、レジュメの誤字・脱字については、これまで以上に注意したいと考えています。</p>		
〔教科書〕 <p>大阪商工会議所(編)『ビジネス会計検定試験 公式テキスト 3 級 第4版』中央経済社、2019 年 3 月。</p>		
〔指定図書〕 <p>指定しません。</p>		

〔参考書〕

指定しません。

〔前提科目〕

「会計学基礎論」の単位を取得していること(「財務会計論」の単位も修得していれば、なお望ましい。)

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

学習内容を確認するための小テストを第8回・第15回で実施します。これら2つの確認小テストの得点に、授業内課題等(第1回の授業で説明)の点数を加えた総合得点に基づいて評価します。

〔評価の基準及びスケール〕

評価の基準は下表の通りです(100点満点)。

評 価	総合得点
A	80点以上
B	80点未満～70点以上
C	70点未満～60点以上
D	60点未満～50点以上
F	50点未満

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

- 授業はシラバスの内容に従いますが、諸事情により、シラバス通りに進行しないこともあり得ます。
- 三密を避けるため、必要に応じて、授業時間内であっても休憩をとります。
- 授業中の食事は厳に慎んでください。これ以外の、授業の進行を妨げる行為も同様です。教員による注意に関係なくこれらの行為が継続される場合は、総合得点に関係なく評価を下げることもありえます。

〔実務経歴〕

該当なし。

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): 財務諸表とは何か 内 容: 財務諸表の役割 教科書: 第1章
第2回	テーマ(何を学ぶか): 貸借対照表(1) 内 容: 貸借対照表の仕組み(「資産」と「負債」) 教科書: 第2章
第3回	テーマ(何を学ぶか): 貸借対照表(2) 内 容: 貸借対照表の仕組み(「純資産」と「株主資本等変動計算書」) 教科書: 第2章

第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):損益計算書(1)</p> <p>内 容:損益計算書の構造、利益計算のルール</p> <p>教科書:第3章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):損益計算書(2)</p> <p>内 容:損益計算書に見る「5つの利益」とその「意味」</p> <p>教科書:第3章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):キャッシュフロー計算書(1)</p> <p>内 容:利益とキャッシュの違い、損益計算書とキャッシュフロー計算書の違い</p> <p>教科書:第4章</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):キャッシュフロー計算書(2)</p> <p>内 容:キャッシュフロー情報の意味内容、その見方</p> <p>教科書:第4章</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):学習内容の確認(1)</p> <p>内 容:財務三表の復習と確認小テスト</p> <p>教科書:第1章～第4章及び配布資料</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務諸表分析とは何か(1)</p> <p>内 容:財務諸表分析の目的・種類・手法、百分比貸対照表</p> <p>教科書:第5章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務諸表分析とは何か(2)</p> <p>内 容:成長性分析</p> <p>教科書:第5章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務諸表分析とは何か(3)</p> <p>内 容:安全性分析</p> <p>教科書:第5章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務諸表分析とは何か(4)</p> <p>内 容:収益性分析その①</p> <p>教科書:第5章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務諸表分析とは何か(5)</p> <p>内 容:収益性分析その②</p> <p>教科書:第5章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):財務諸表分析とは何か(6)</p> <p>内 容:財務データを読む</p> <p>教科書:第5章及び配布資料</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):学習内容の確認(2)</p> <p>内 容:財務諸表分析の復習と確認小テスト</p> <p>教科書:第5章及び配布資料</p>
試験	